

よこはま動物園ズーラシア マレーバクの「ロコ」が死亡しました



よこはま動物園で飼育していたマレーバクのメス「ロコ」が死亡しましたので、お知らせします。

○死亡したマレーバク

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成 21 年 6 月 5 日 (17 歳)
- (3) 死亡日時 令和 8 年 8 月 29 日 (土) 午後 6 時 08 分死亡確認
- (4) 死 因 調査中
- (5) 経 過 令和 8 年 8 月 26 日 (水) の午後、後肢のふらつきが見られ、夕方には自力で立ち上がることが困難な状態となりました。その後起立・採食補助等を行いました。状態は改善せず、8 月 29 日 (土) に死亡を確認しました。
起立が困難となった原因及び死亡原因については、現時点では特定できていません。今後、病理組織検査等により調査する予定です。

●ロコのプロフィール

平成 21 年 6 月 5 日に広島市安佐動物公園で生まれ、令和元年 6 月に愛媛県立とべ動物園から当園に来園しました。とても穏やかな性格で、ブラッシング中はとてもリラックスした様子を見せていました。また、出産や子育てを通じて繁殖にも貢献し、多くの皆様に親しまれてきました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 長倉 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■マレーバクについて

和 名	マレーバク
英 名	Malayan Tapir
学 名	<i>Tapirus indicus</i>
分 類	奇蹄目 バク科
分 布	ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
生 態	現存するバク 4 種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大 きいことで知られている。他のバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラー になっているのが特徴。熱帯雨林の森の中で単独で生活し、木の葉や草などを餌 とする。水辺を好み、泳ぎも巧み。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が 心配されている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそ れのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	EN：危機
当園飼育頭数	1 頭（オス 1 頭）※今回死亡した個体含まず 横浜市繁殖センターの個体 3 頭（オス 2 頭、メス 1 頭）
国内飼育園館	12 園 34 頭（オス 18 頭、メス 16 頭、）令和 8 年 7 月 1 日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料

毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証）

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

◆休 園 日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※9/2～9/28 は無休

◆交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、JR 横浜線・横浜
市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 18 分、「横浜」駅から「よこは
ま動物園」行きバスで約 1 時間

◆U R L：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

◆住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1

◆問合せ先：045-959-1000